

令和6年4月24日

土木部都市整備課

(公社) 日本植物園協会ナショナルコレクション認定 「水戸のウメ」コレクション



National
Collection
JABG National Plant Collection
Certification System

2024年3月1日に、水戸市植物公園と偕楽園のウメの品種群(江戸時代の文献に見られる古典的な品種や、水戸で生まれた品種など130品種)が「水戸のウメ」として、(公社)日本植物園協会の未来に残すべき園芸文化遺産であるナショナルコレクションに認定されました。

5月23日(木)に開催される(公社)日本植物園協会大会においてナショナルコレクション認定証が授与されます。また、水戸市植物公園では、認定を記念して茨城県(偕楽園)と共催で、「水戸のウメ」パネル展を開催します。

ナショナルコレクション認定制度は、秋篠宮皇嗣殿下が総裁をお務めになる(公社)日本植物園協会が制定した認定制度です。野生種、栽培種に関わらず日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り、後世に伝えていくことを目的とした「植物コレクションの認定、保全制度」です。

1 ナショナルコレクション「水戸のウメ」について

(1) コレクションのテーマ

水戸のウメコレクション

(2) 申請団体

水戸市植物公園

茨城県土木部都市局都市整備課(偕楽園)

(3) コレクションの所在地と登録数

①茨城県水戸市小吹町504 水戸市植物公園内 74品種 148本

②茨城県水戸市常磐町1-3-3 偕楽園 101品種 892本

(4) 認定期間

2024年3月1日～2029年2月28日

(5) コレクションの概要

「水戸」といえば、御三家の1つ水戸徳川家所縁の地であり、水戸黄門(徳川光圀)や偕楽園などが知られている。毎年2月には水戸の梅まつりが開催されるなど、ウメゆかりの地となったのは、水戸藩九代藩主徳川斉昭のウメ好きによるものである。

水戸のウメコレクションは偕楽園と水戸市植物公園の2施設で構成され、江戸時代の文化や生活に関連した歴史ある品種や、過去の文献や梅図譜で紹介された古典的な品種を多く保有、保存、公開していることが特徴である。



烈公梅

2 ナショナルコレクション認定記念 「水戸のウメ」パネル展について

(1) 期間 5月25日(土)～8月25日(日) ※開園時間は9:00～17:00(入園は16:00まで)

(2) 場所 水戸市植物公園(小吹町504番地) 観賞大温室室内多目的室

(3) 主な内容 江戸時代から栽培され続けた古典的な品種や水戸で生まれた品種など、貴重なウメの歴史や品種のパネル展示、ウメの手作り刺繍展示、偕楽園の梅品種のパネル展示

《本件に関する問合せ先》

課名 茨城県土木部都市局都市整備課(偕楽園)
電話番号 029-301-4660

担当者 石川、中下、岡崎
Email toshisei6@pref.ibaraki.lg.jp

課名 水戸市植物公園
電話番号 029-243-9311

担当者 綿引、城山
Email botanical.park@city.mito.lg.jp